

令和3年3月の労働市場の動き

(求人倍率)

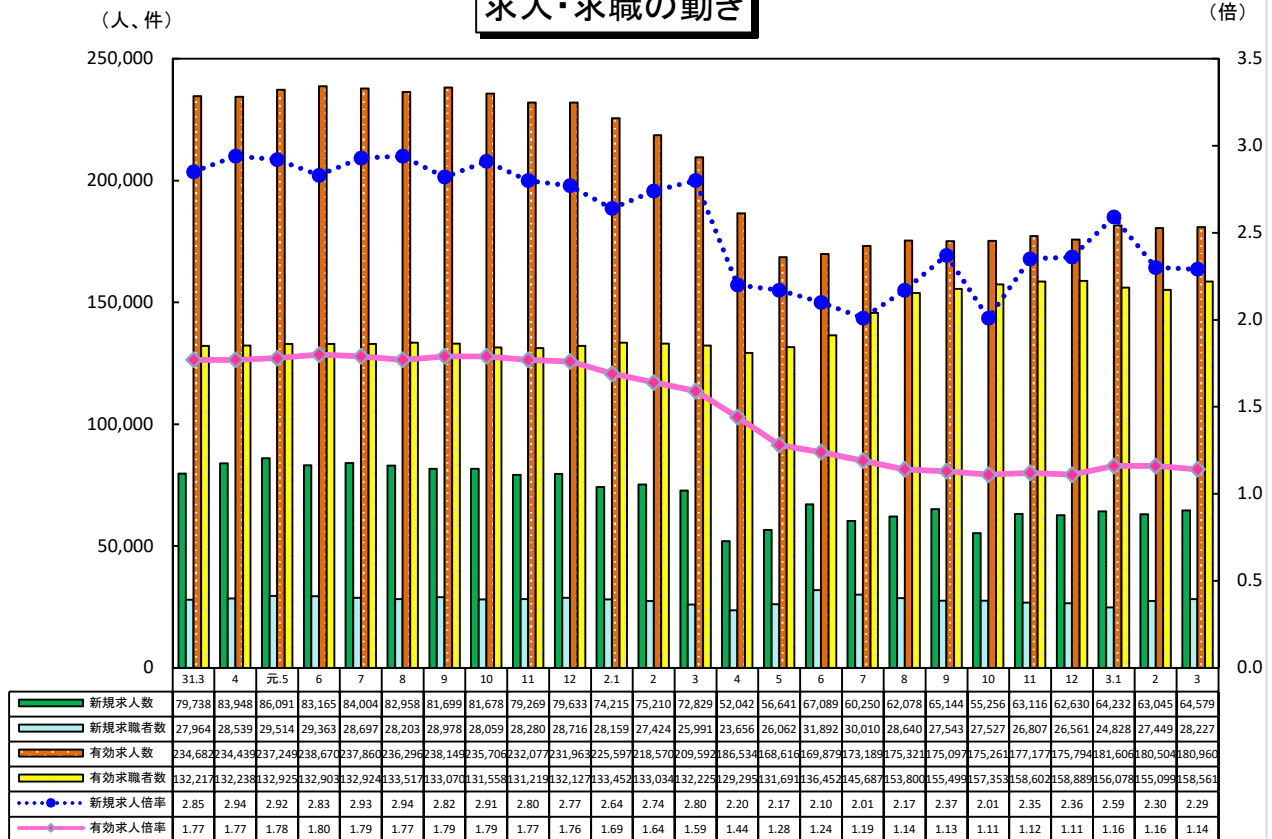
- 大阪府の令和3年3月の有効求人倍率(季節調整値)は1.14倍となり、前月より0.02ポイント低下した。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.29倍となり、前月より0.01ポイント低下した。

【参考】 就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は0.95倍(前月より0.01ポイント低下)と8か月連続で1倍を下回っている。

(求人・求職の動き)

- 3月の新規求人数(季節調整値)は前月比2.4%増となり、有効求人数(同)は前月比0.3%増となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比2.8%増となり、有効求職者数(同)は前月比2.2%増となった。
- 3月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると5.1%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比21.5%増)、製造業(同0.9%減)、情報通信業(同15.5%減)、運輸業、郵便業(同14.6%減)、卸売業、小売業(同15.6%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同10.3%増)、宿泊業、飲食サービス業(同31.2%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同6.8%減)、教育、学習支援業(同21.6%増)、医療、福祉(同5.1%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同6.1%増)と一部の産業で増加となった、

求人・求職の動き



(注) 各月の数値は季節調整値。R3.2季節調整替。